GM維持管理推進委員会委員殿

一般社団法人
日本グラウンドマンホール工業会
事務局　大石　直豪

第23回GM維持管理推進委員会議事録

1. 開催日時　2021年 2月18日(木)　10時00分～12時00分

2. 開催方法　WEB会議室

3. 参加者　（敬称略）

委員長	吉開　守
副委員長	井上　好道
委　員	萩野　豊明
同	今林　茂樹
同	松村　孝
同	清水　壱浩
同	矢野　雅美
同	荒木　勇輝
同	山下　俊哉
オブザーバー	竹中　史朗
事務局	大石　直豪
欠席	水島　高弘

議事経過

初めに事務局の開催宣言の後、吉開委員長より前回10月開催の委員会では、コロナ禍で思うような活動ができていない状況と下期活動ポイントを共有していたが、その後、再度の緊急事態宣言となり、下期も十分な活動が行えない中で本日の委員会を迎えた。
今年度は委員会としての活動は進まなかったが、現時点での評価を行い、2020年度中に行うべき事項と、2021年度の委員会活動計画として行うべき事項について、活発な議論をお願したい旨の挨拶があり、議題に入った。

議題1：2020年度委員会活動状況の共有について（今年度評価）

事務局より本編資料に記載の計画項目に基づいて、以下の各支部・関係団体への1月末現在の活動状況の詳細と、現状の見取りについて報告があった。

1. GM更新計画の普及啓発活動
   1)地整/県への活動
   記載の報告以外に現在作成中の研修会動画の一部分を音声無しで共有された。
   2)水コン協への活動：本編資料通り
   3)管診協との取組み：本編資料通り
   4)管路協への活動：本編資料通り

2. GM維持管理における基盤整備
   1)国交省雛形資料へのGM追記と早期周知
   ・災害対策でのGM 更新促進に向け、浸水被害軽減総合計画や総合地震対策計画などの国指定様式にGM 更新を付帯させた雛形と、マンホール蓋浮上防止対策の様式雛形を作成。「下水道事業の手引き」に記載されている申請様式に、マンホール蓋に関する計画項目を追記したものに誤りが無いかについて、今年度内に本省に確認を行う。
   特に汚水改築に関する国費充当が厳格化されるため、単純改築では無く災害対策等機能向上への改築という計画に向かうような流れをつくる必要がある。
   2) 下水道台帳へのGM 情報項目反映化
   ・資料-⑤について、管マネガイドラインに準拠してGMの管理項目9項目に対して、プルダウンで選択可能な情報項目を整理した。前項同様に今年度内に本省に確認を行う。

3. GM維持管理の広報活動：本編資料通り
   1)下水道事業団(JS)研修会への講師派遣：本編資料通り
   2)マンガ広報を活用したGM改築の予算獲得
   新聞報道などでマンガ広報誌を知った自治体から問合せが来ていることもあるようなので次年度計画の中でもマンガ広報誌の内容について議論を行う。またコロナ禍の影響で現時点9県への配布に止まっている為、緊急事態宣言解除後、順次配布していく。
   3)マンホール蓋維持管理に関する特集記事企画：本編資料通り

議題2 JGMA 新HP の共有・確認について

・事務局から、添付資料のホームページのサイトマップと、現在作成作業中のデモページを共有した上で事務局から詳細な説明があった。
尚、マンガ広報誌をHPに掲示するのは、委員会活動で配布が終了した時点とするかタイミングを図りながら進める。
尚、「マンホール**ふた**」については「マンホール**蓋**」の漢字表記に統一することとした。

議題3 2021 年度委員会活動計画の骨子について

吉開委員長より、添付資料「令和３年度活動計画（案）」に基づいて、詳細な説明があった。
2021年度の活動計画(案)について意見を募ったところ、次の意見があった。
2.2) 白本へのストマネ計画策定歩掛_GM編の反映に向けた動向把握について、「動向把握」と、文末の「反映化を進める。」は活動の意味合いが異なり、反映化を進めるのであれば活動を開始しなければならない。
これについては、動向把握の活動をしている中で、反映化が見通せる段階になったら活動を進展させたいとの意味だが、「動向を確認していく。」に修正することとした。

尚、事務局から各支部責任者へ2020年度の支部別活動評価と、2021年度の支部別活動計画の作成を3月に依頼するとの案内があった。

議題4 その他

事務局より、資料-⑦に基づいて、2021年度の委員会開催のスケジュールおよび、工業会全体のスケジュールの概要について説明があった。

以上により本日の議題を終え、最後に井上副委員長より以下の挨拶があり委員会を終えた。
2020年度はコロナ禍で活動が困難だったが2021年度は当委員会だけでなく需要を喚起していくために会員社の営業前線まで一体活動となるように、周知を図っていきたい。
特にマンガ広報誌については、GMのデザインから切り込んでいないことにインパクトがあり、意味もある。
次年度も当委員会の更なる活躍を期待したい。

この議事録を証するため、委員長次に記名押印する。

2021年 2月18日

一般社団法人

日本グラウンドマンホール工業会

GM維持管理推進委員会委員長　吉開　守 吉開